

登録コード	E9101200	開講年度	2026				
授業科目	感情・人格心理学					担当教員	向井 秀文
英文授業名	Psychology of Emotion and Personality					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限		対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				当該科目で獲得した知識を教育活動へ応用するための方法を学ぶ		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				感情・人格に関する諸理論を学び、感情・人格が行動に及ぼす影響を理解する		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働、健康長寿、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	感情に関する理論及び感情喚起の機序、感情が行動に及ぼす影響、人格の概念及び形成過程、人格の類型・特性等について講義する。授業では、各回で可能な限りディスカッションの時間を設け、感情・人格心理学に関連する知識の理解を深めてもらう。						
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション / 感情・人格心理学とは 第2回：感情に関する理論及び感情喚起の機序(1)：動機づけ 第3回：感情に関する理論及び感情喚起の機序(2)：感情の理論 第4回：感情に関する理論及び感情喚起の機序(3)：感情と認知評価 第5回：感情が行動に及ぼす影響(1)：ポジティブ感情の効果 第6回：感情が行動に及ぼす影響(2)：ネガティブ感情の効果 第7回：感情が行動に及ぼす影響(3)：感情と社会的活動 第8回：感情が行動に及ぼす影響(4)：感情調整 第9回：人格の概念及び形成過程(1)：人格の遺伝 第10回：人格の概念及び形成過程(2)：人格の形成と変容 第11回：人格の類型・特性等(1)：特性論 第12回：人格の類型・特性等(2)：類型論 第13回：人格の類型・特性等(3)：人格と病理 第14回：授業の総括（期末試験） ＊教育実習における欠席分の補講について：e-alpsに補講用の動画をアップロードしますので、視聴後、指定されたフォーラムにレポートを提出してください ＊授業最終回に授業アンケートを実施します						
(6)成績評価の方法	・「授業の達成目標」の到達度を測るためのディスカッションや課題への取り組み：50％ ・「授業の達成目標」の到達度を測る期末試験：50％ ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	ディスカッションや課題への取り組み、期末試験に関して、それぞれの評価割合が6割以上であれば「水準にある」、7割以上であれば「やや上にある」、8割以上であれば「かなり上にある」、9割以上であれば「卓越している」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	授業中に配布される資料を使って授業内容を十分に復習してから次回授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	・ 授業の終了時に毎回課題（小レポート）を実施する。 ・ 授業時間以外の予習・復習が必要となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mukaih@shinshu-u.ac.jp（向井秀文）						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	適宜紹介する						